



2018年1月16日
京都鉄道博物館

～貴重な映像とともに往時に思いを馳せる～ ワークショップ「鉄道映画を見る」を開催します

京都鉄道博物館では、収蔵している映像資料をお楽しみいただけるワークショップを開催いたします。映画のご鑑賞とともに、上映に先立って作品の概要や、作中に登場する往事の各種業務などの解説も行います。上映する作品は、国鉄時代の記録映画や、二代目大阪駅の映像など、貴重なものばかり。この機会に、往時に思いを馳せながら、京都鉄道博物館での映画鑑賞をお楽しみください。

また、鉄道等の双六の収蔵資料展も開催いたしますので、ぜひご覧ください。

- 開催日 1月20日(土)・21日(日)
 開場時間 13:00
 上映時間 13:30～15:20 (途中休憩あり・途中入退場自由)
 内容 ①職員による各映画の概要解説
 ②映画上映
 会場 本館3階 ホール
 定員 100名(先着順)
 参加費 無料(入館料別途必要)



(イメージ)

時間	映画タイトル	製作	内容
13:30～14:00	生まれかわる客車	1953年頃	国鉄高砂工場(兵庫県)での木製客車の鋼体化改造工事
14:10～14:40	海を渡る鉄道	1960年頃	関門・宇高・青函連絡船とトンネル工事
14:50～15:05	膳末次郎氏 外遊見送風景	1933年頃	大阪の商人が記録した二代目大阪駅の様子
15:05～15:20	貨物駅	1961年	当時の貨物輸送

収蔵資料展 「鉄道のりもの双六」

- 開催期間 1月20日(土)～4月1日(日)
 場所 本館2階 展示ブース
 内容 双六は遊び道具であると同時に、当時の世相や流行を知ることができる貴重な資料です。当館が収蔵している双六のなかから、鉄道等の乗り物や、京都をはじめとする名所・旧跡等が描かれているものを中心に展示します。

※展示期間中に一部展示替えを行います。
 ※京都市内博物館施設連絡協議会主催「第23回京都ミュージアムロード」の協力展示です。



▲空中汽車旅行双六(1924(大正13)年)